

# 埼玉病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

A群溶血性連鎖球菌感染症後急性糸球体腎炎の初発症状に関する研究への

ご協力をお願い

独立行政法人 国立病院機構埼玉病院 小児科 朝戸信家  
小児・周産期センター部長 上牧 勇

このたび当院では、上記のご病気で来院された患者さんの診療情報を用いて下記の研究を実施致します。つきましては皆様のご協力をお願いしたく、下記にて詳細を掲示します。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担（追加の検査や治療など）は一切ありません。また参加されない場合も患者さんに不利益は一切生じません。患者さんのプライバシー保護については下記5の記載に従い確実に管理致します。

本研究への協力を望まれない患者さん・ご家族の方は、下記までご連絡をお願いします。参加を希望されない患者さんの情報につきましては後日であっても研究の対象から除外して対応致します。

## 1 対象となる方

溶連菌感染後急性糸球体腎炎と診断された16歳未満の小児（以下「研究協力者」といいます）

## 2 研究課題名

A群溶血性連鎖球菌感染症後急性糸球体腎炎の初発症状に関する研究

## 3 本研究の意義、目的、方法

A群溶血性連鎖球菌(以下「溶連菌」といいます)感染症は、小児ではよくみられる細菌感染症です。溶連菌による上気道感染後、1-2週間の潜伏期間を経て溶連菌感染後急性糸球体腎炎(以下「急性腎炎」といいます)を発症することがあります。急性腎炎の症状は、無症状のものから、血尿、浮腫、高血圧、腎不全と程度は様々です。以前の日本において急性腎炎はありふれた疾患でしたが、近年急性腎炎の発生頻度は低下しており、診療の機会が減ってきております。今回急性腎炎の初発症状を調査することにより、溶連菌感染後に注意すべき点を明らかにすることが可能となり、これは、患児とその家族の方々において非常に有用な情報になると考えられます。

年間の発生症例数が少ない急性腎炎の解析を行うことは、単一施設では困難です。そこで私たちは研究参加施設と連携して症例を集積し、急性腎炎の初発症状を明らかにするため研究を計画しております。

方法は平成22年1月1日以降に急性腎炎と診断された患者さんの診療情報を用いて調べますので、研究協力者に特別なことはしません。

## 4 協力をお願いする内容

研究協力者につきましては、臨床情報（性別、年齢、初発症状、転機、血液・尿検査、超音波検査など）を診療録をもとに調べます。この調査のために再度皆さんからの情報収集や検査をお願いすることはありません。研究成果は、個人が特定できない形とし、学会などで公表します。

## 5 プライバシーの保護について

本研究で取り扱った患者さんの個人情報、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。

## お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究代表者 国立病院機構埼玉病院 小児科 医師 朝戸信家  
共同研究者 国立病院機構埼玉病院 小児・周産期センター部長 上牧 勇  
電話番号(代表) 048(462)1101